



いんばぬま豆知識シリーズ その⑬

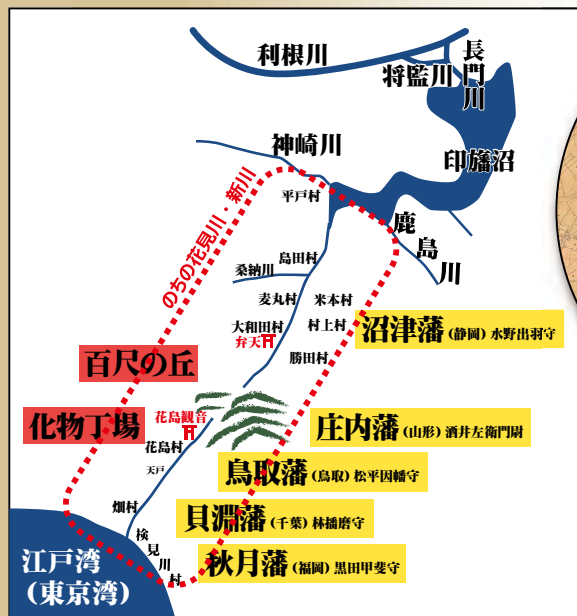
～印旛放水路編～



新川・花見川の開削について教えて!

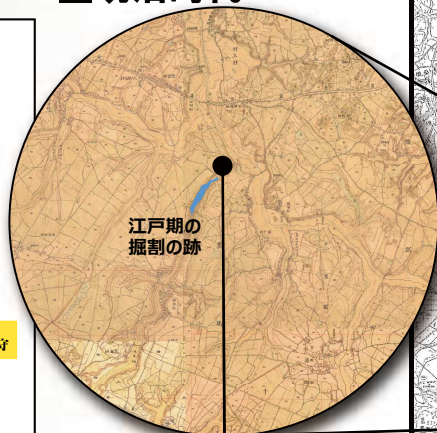
印旛沼の水を東京湾へ排水する「新川」「花見川」は昭和40年代まではつながっていませんでした。今回は新川、花見川の開削の歴史を振り返ります。

江戸時代



2012 疏水フォーラム 小林千代美先生の講演資料より

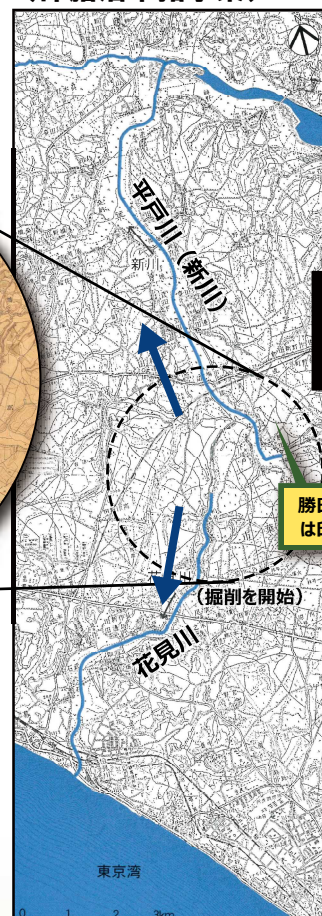
明治時代



明治時代にも何度か開削の計画が検討されました。

内務省の織田完之が渋沢栄一らの資金を得て開削を進めようと画策しましたが、実現には至りませんでした。

昭和30年頃 (印旛沼干拓事業)



昭和40年頃 (印旛沼開発事業)



出典：印旛沼流域マップ（治水・利水編）ほか



新川掘削状況(昭和38年頃)
上げられた川幅
元の川幅
ポンプしゅんせつ船による掘削



花見川掘削状況(昭和32～36年頃)
疏水路上流部(新川)は、昭和38年からポンプしゅんせつ船による掘削が行われ、昭和40年12月に完成しました。

江戸時代の利根川東遷によって印旛沼は洪水が頻発するようになりました。沼の洪水を東京湾へ排水する試みは江戸時代中期から三たび行われたが、いずれも失敗に終わりました。

天保の掘削(1840年代)では、普請によって全国5藩の協力による掘削工事が行われましたが、高台(百尺の丘)と軟弱地盤(化物工場)の難所工事を克服できず、多くの費用と犠牲者を出しました。

昭和21年に着工した農林省の「印旛沼手賀沼干拓建設事業」、昭和38年度からの水資源開発公団による「印旛沼開発事業」によって、江戸時代からの悲願であった東京湾への洪水排水は昭和43年に達成されることになりました。

みず し げん き こう
独立行政法人 Japan Water Agency
水資源機構
千葉県八千代市村上3139(大和田機場横) TEL(047)483-0722
千葉用水 検索